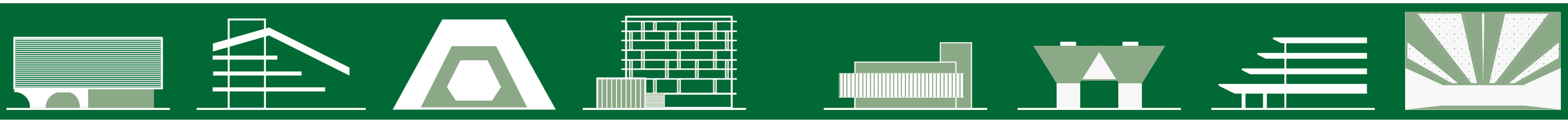
AXS ENVIRONMENTAL INITIATIVE

発行 | 株式会社佐藤総合計画
発行日 | 2024 年 12 月 3 日　第 3 版　2 刷
責任編集 | 田村　富士雄
デザイン | 未来・都市・環境研究センター
八木　真爾
矢野　美奈子
川谷　大輔
山本　真広
吉原　優
千田　紗恵
陳　阿青
制作 | 弓崎　浩一
白石　千香子
桑原　亮

AXS ENVIRONMENTAL INITIATIVE



AXS

3rd Edition

数値からひとへ

環境に親和する建築・都市を目指して 技術で革新する

佐藤総合計画（AXS）は建築・都市づくりにおいて喫緊の課題であるカーボンニュートラルを重視し、鋭意取り組んできました。しかしながら、カーボンニュートラルのみに焦点を当てすぎてしまうと、建築の価値を狭めてしまう恐れがあります。CO_2発生量を抑えてZEBを実現することに加え、風土のポテンシャルを活かした健康で心地よいウェルネスで、レジリエンス性能が高い環境親和建築を実現する必要があります。

建物の利用者は、カーボンニュートラルやそのための建築・環境設備システムに対してではなく、自らの心地よさの充足に対して強い関心を持っています。例えば、夏は 26℃50%、冬は 22℃40%といった空調における数値の目安が、いつの間にか不変一様の到達目標になってしまっています。しかし、そこには「数値」のみが存在しているだけで、その空間を使う「ひと」への視点が存在していないように思われます。

ZEBの実現に向け設備システム容量を減らすだけの取り組みでは、ウェルネスを損なうリスクがあります。健康で心地よいウェルネス環境の実現には、「人が受け入れられる環境とは何か」、「人は環境に対してどのような反応をするのか」という人間系の要素を重視した計画を行う必要があります。私たちはそこに総合設計事務所としてのノウハウを持ち、技術（システム）やソフト計画の知見・実績を有しています。

私たちは新たな建築・環境・設備を目指すうえで「数値からひとへ」、「技術で革新する」を命題に掲げて、人間の感覚と知覚を取り入れたパッシブデザインと最先端技術（設備）のバランスがとれた環境親和建築の実現に取り組み、成果を上げています。

本パンフレットは、私たちのこれらの取り組みを紹介するものです。本パンフレットを通じて、私たちを、私たちの目指すものをより知っていただくきっかけとなれば望外の喜びです。

株式会社佐藤総合計画
執行役員　環境オフィス機械　ディレクター
未来・都市・環境研究センター　センター長
田村富士雄

AXS

ENVIRONMENTAL INITIATIVE

AXS 環境親和建築を実現する
3 つの視点

1 CARBON NEUTRAL

数値：気候・風土を読み解き「かたち」にする AXS

2 WELLNESS

感性：「数値」だけではない「ひと」に寄り添う AXS

3 E-MANAGEMENT

運用：「環境」を読み解き「環境」を高める AXS

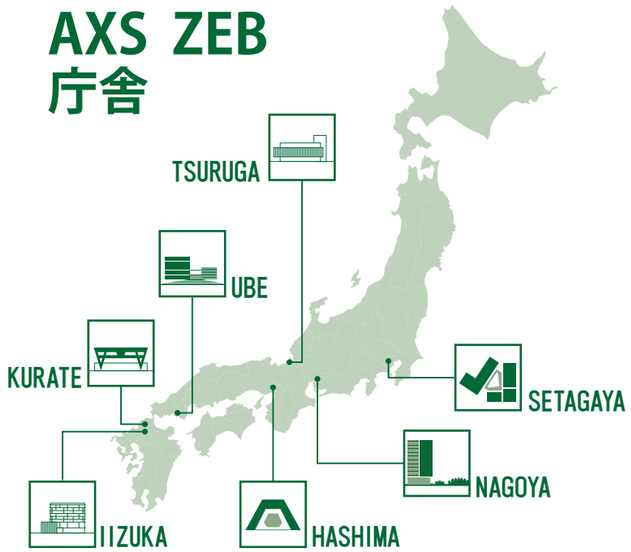
社会に貢献する
佐藤総合計画の環境親和建築

カーボンニュートラルの実現は喫緊の課題ですが、これまでの環境建築の中には、省エネルギー性能やシステム効率などの数値のみにとらわれたものもありました。そのため、冷房設定温度を上げるなど、本来重視すべき人の健康性、快適性などを考慮せず我慢する建築で単に数値の達成を目指している事例も見受けられます。

私たちは、多様性の尊重や働く人のウェルネス向上なども含めて、建物の環境品質をより総合的に向上すべきと考えています。

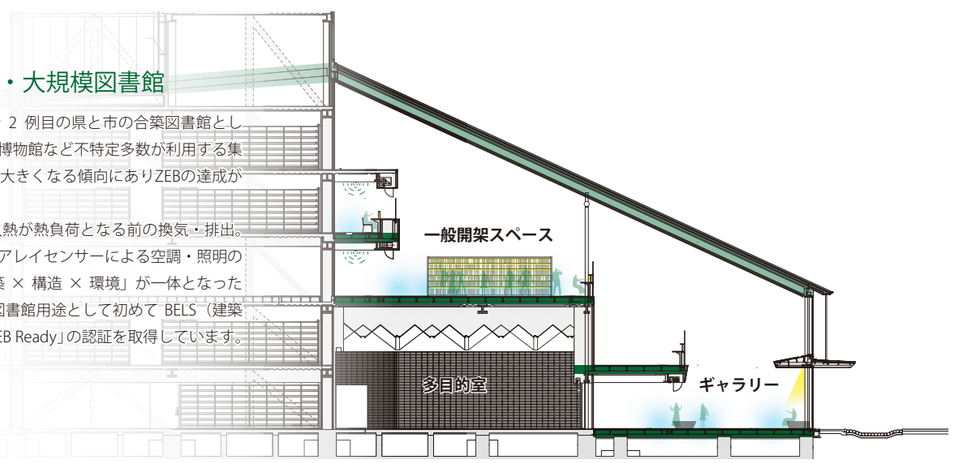
そのため、働く人のウェルネスやエネルギーマネジメントのしやすさなど、建築は人が中心であることを前提に、数値を単なる「数字」でとらえることなく、「感性も含めた数値」としてとらえ設計を行っています。

AXS ZEB 庁舎

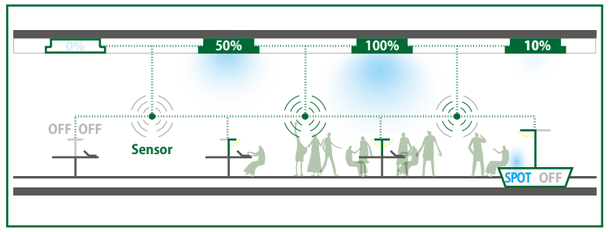


全国初の ZEB Ready 認証・大規模図書館

長崎県の大村湾を望む扇状地に、全国で 2 例目の県と市の合築図書館としてミライ on は誕生しました。図書館や博物館など不特定多数が利用する集会場用途の建物は、エネルギー消費量が大きくなる傾向にありZEBの達成が難しいとされてきました。
ミライ on は、大屋根の高断熱化、侵入熱が熱負荷となる前の換気・排出。居住域空調の徹底、閲覧エリアの赤外線アレイセンサーによる空調・照明のオンデマンド制御、外構緑化など、「建築 × 構造 × 環境」が一体となった環境親和計画により、10,000m² 以上の図書館用途として初めて BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）による「ZEB Ready」の認証を取得しています。



ON DEMAND SYSTEM



全国で庁舎のZEB化を実現する

私たちは、庁舎、学校、図書館などを中心に公共施設を数多く手がけています。特に庁舎は、その土地の顔として市民に親しまれる建物であるとともに、民間への波及効果を目的にさまざまな分野で率先して先導的な取り組みがなされています。近年では、環境意識の高まりから庁舎の建替えではZEB化が強く求められています。
私たちは、これまで全国の庁舎建築に携わってきた経験をもとに、省エネルギー性（ZEB）・ウェルネス性（健康性・快適性・知的生産性）・BCP性の高い庁舎を設計しています。
これまで設計したZEB庁舎は全国で8件（2023年12月現在）となり、全国でもトップクラスの実績を誇ります。

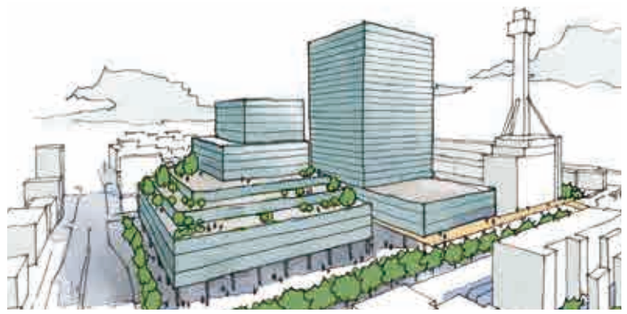
（当社 ZEB 実績件数には未認証も含む）

AXS CARBON NEUTRAL

確かな技術、新たな技術で環境親和建築を社会に提供する

カーボンニュートラルの実現には、設計の初期段階から発注者を含めた関係者全員が、カーボンニュートラルを確実に達成するという強い共通意識を持ち、目指すべき数値（具体的な ZEB ランクなど）を明確化することが不可欠です。その上で、私たちは以下に示すヒエラルキーアプローチを行い、建物の生涯を通したカーボンニュートラル（ZEB 化）を進めています。

① 計画地の気候・風土をていねいに読み解き、その土地（風土）のポテンシャルをデザインに落とし込む（負荷を元から断つ）
② 高効率設備システムなど各種省エネルギー技術をバランスよく導入し、徹底的にエネルギー消費を削減する
③ 再生可能エネルギーを導入し可能な限りネット・ゼロに近づける
④ 竣工後もエネルギーマネジメント（検証・改善）を継続的に行い、さらなる省エネルギー・ウェルネスの向上を図る

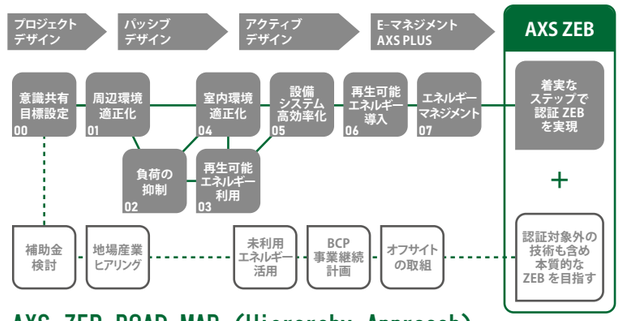


ZEB 化による工事費の増加を補助金でまかなう

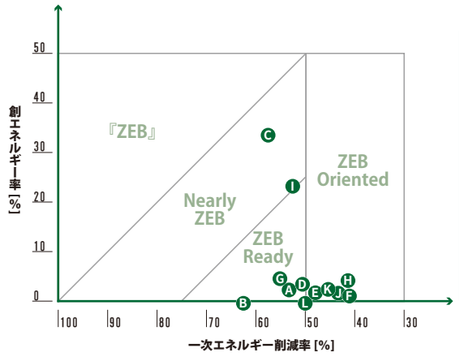
ZEBを達成するにあたり導入する技術は汎用的なものから先進的なものまで様々ですが、ZEB化を行わない建物と比較すると工事費が増額する傾向にあります。ZEB化に必要となる初期費用を可能な限り小さくするため、私たちは、ZEB化のコストメリットの試算適用対象となる補助金の調査、補助金の申請・採択まで細やかな支援を行っています。私たちの実績では、ZEB化による工事費増（約10%）に対して、補助金を最大限活用することで、発注者のコスト負担軽減が図れています。

Nearly ZEB 認証を取得

鞍手町（福岡県）は、2050年までに実質的なCO_2排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。町の中核エリアに位置する新庁舎は、ゼロカーボンシティの実現だけでなく、防災拠点としてのBCP機能を強化するために、設計当初からNearly ZEB認証の取得を目指してきました。
ZEB化に向けては、日射量が豊かな地域特性を最大限に活用し、大屋根全面に太陽光発電設備を設置。室内は天井放射冷暖房システムなどを採用して、職員や町民のウェルネスも高める環境計画を進めました。
その結果、一次エネルギー消費量の削減率が75%となりNearly ZEBの認証および CASBEEウェルネスオフィスのSランクを達成、省エネルギー性（ZEB）とウェルネスを両立する次世代型の環境親和庁舎を実現しました。



AXS ZEB ROAD MAP（Hierarchy Approach）



- Ⓐ 飯塚市庁舎
- Ⓑ ミライｏｎ
- Ⓒ 東京都公文書館
- Ⓓ 敦賀市庁舎
- Ⓔ 羽島市庁舎
- Ⓕ 港区立赤坂中学校
- Ⓖ 多摩市立中央図書館
- Ⓗ 宇部市庁舎
- Ⓘ 鞍手町庁舎
- Ⓙ 世田谷区本庁舎東棟
- Ⓚ 世田谷区本庁舎西棟
- Ⓛ 名古屋第４地方合同庁舎

AXS ZEB LIST

実際の運用に即した本質的な省エネルギーを追求

ZEB認証を申請する際に行う省エネルギー計算は定められた計算プログラムで実行しなければなりません。その計算プログラムは多様な建物を評価できる一方、個々の建物の特性、すべての（最先端の）省CO_2 技術を計算へ反映することは困難です。
東京都公文書館は都有施設初のZEB化実証建築です。図書館的な用途ではあるものの、重要な公的資料の保存が主となり、一般的な図書館とは利用形態が大きく異なります。そこで、本計画では詳細な計算が可能なBEST（省エネ基準対応ツール）により実際の運用に近い数値を用いて省エネルギー計算を行っています。その結果、基準一次エネルギー消費量と比較して、計算上、約90%の一次エネルギー消費量削減を達成しています。

厳しい条件下でもZEBを達成

一般に、寒冷な地域は暖房用のエネルギー消費が大きいため、ZEB化が難しいとされています。加えて、湿度が高い地域は適確な湿度コントロールが必要になり、さらなる技術面での工夫が求められます。福井県の敦賀市庁舎（2021年竣工）は、パッシブ手法の徹底による環境負荷の最小化、地中熱システムや井水利用、天井放射パネル冷暖房の導入、太陽光発電パネルの設置などの自然エネルギー活用など様々な工夫により一次エネルギー消費量を基準値から50%削減し、ZEB Readyの認証を取得しました。

傾斜地を活かした丘の上にたたずむライブラリー

広大な公園の一角に建てられた多摩市立中央図書館は、高低差が10mを超える傾斜のある敷地を活かして計画した図書館です。一般に、省エネルギー性能を向上させるためには外皮面積や開口部を小さくする傾向があります。それに対し本施設は、緑豊かな公園からの自然の恵みを享受できるよう、外皮性能（BPI）向上の検討を詳細に行い、外皮の断熱性能や日射遮蔽を担う庇の形状などを決定し、開口部を最大限確保しました。
こうした検討に加え、建物の半地下化、高効率機器の採用、空調ゾーンの細分化による搬送動力の低減、照明の各種制御などといった省エネルギー手法を積み上げ、都内の図書館用途では初となるZEB Readyの認証を取得しました。

幼・小・中連携教育の拠点となるエコスクール

赤坂中学校は、都心に残る豊かな木々と坂のある特徴的な計画地の記憶を建物に継承し、「赤坂の杜」として計画されました。木々のイメージはルーバーのデザインに反映され、教室への日射を遮蔽する要素として機能しています。外皮の高断熱化や日射遮蔽などのパッシブ技術と、高効率機器の採用や用途（教室、厨房・体育館、プール）に合わせた空調システムを採用した高効率化などのアクティブ技術とを組み合わせた結果、ZEB Orientedの認証を取得しました。

AXS WELLNESS

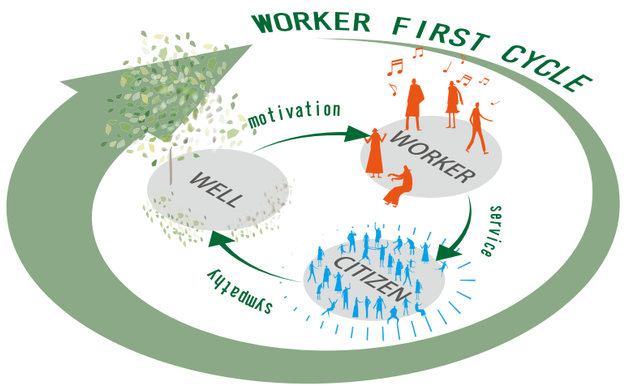
感性（体感）を重んじ、利用者のパフォーマンスを引き出す

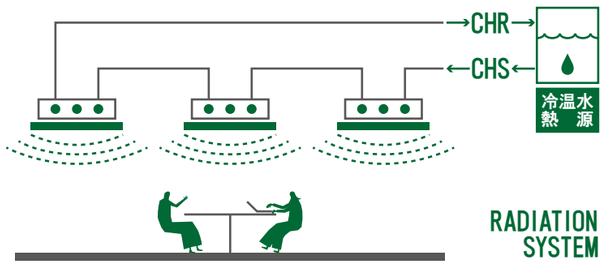
利用者が我慢をして省エネルギーに努めることは、ランニングコスト（光熱水費）の削減になるかもしれません。
しかし、我慢による職員のパフォーマンスの低下・健康被害は、光熱水費をはるかに上回るコスト（人件費）面での損失を生みます。

私たちは、健康な状態を確保することに加えて、例えば庁舎の場合、オフィスの本来の役割である「働くこと」を高める環境の実現を目指しています。

働き方が大きく変わりつつある今、建築（オフィス）はそこで働く人の心身の調和と活力の向上を図り、一人ひとりが最大限にパフォーマンスを発揮できる場であるべきと考えています。

働く人の知的生産性の向上を健康な状態で実現する（働く人がいきいきと働ける環境を整える）ことは、良質なサービスの提供につながります。例えば庁舎では、職員満足度が高まることで市民サービスが向上すると、市民の満足も高まり、さらに庁舎（自治体）への評価も高まると考えられます。





AXS エコアメニティ環境性能評価 × CASBEE ウェルネスオフィス S ランク

飯塚市庁舎（福岡県）の設計当時は、まだZEB認証もCASBEEウェルネスオフィスという制度もなく、進めている建築・環境・設備計画が省エネルギーとウェルネスにどの程度寄与できているかの評価が困難でした。そこでAXS独自の「エコ（省エネルギー）」と「アメニティ（ウェルネス）」を評価する「AXSエコアメニティ環境性能評価システム」を新たに開発しました。人が建築に対して快適さを感じる10の感覚を評価軸として、合計200点満点（各評価軸を20点）として採点（評価）を行います。施工段階での評価では、各項目でバランスよく得点し、161.37点という高い評価となりました。
ZEB認証、CASBEEウェルネスオフィス（自己評価）で評価しなおすとZEB ReadyおよびCASBEEウェルネスオフィスがSランクとなり、省エネルギーとウェルネスが両立した庁舎を実現できています。

緑の丘を形成するグリーンインフラストラクチャー—

世田谷区立保健医療福祉総合プラザ（東京都）は、福祉人材の育成、認知症施策の推進、区民の健康増進など、さまざまな専門機能を有する保健医療福祉の拠点施設として整備されました。
台形の建物形状を生かし、施設全体が「グリーンインフラ」となり、雨水流出抑制、周辺気温の上昇抑制（ヒートアイランド現象の抑制）、良好な景観形成などに寄与する計画としています。
敷地面積の約40%に当たる3,433m²を緑化し、都市内緑地を創出することにより、視覚的な効果に加えて、カーボンニュートラルへの寄与、雨水の貯留量確保にも貢献しています。
また、建築計画の工夫、自然の恵みの利用、高効率機器・システムの採用により、エネルギー消費を低減しています。

天井放射パネル冷暖房による環境満足度の高いオフィス

吉川市庁舎（埼玉県）の執務室は国内でもまだ事例の少ない「天井放射パネル（冷温水式）」を全面採用した冷暖房システムとしています。放射冷暖房システムは、放射面を人の身体の温度より冷房時には低く、暖房時には高くし、放射の効果による熱のやり取りで穏やかに人と空間とを調和させる、快適性が高い方式です。
竣工後に行った温熱環境実測では上下温度差を適正範囲内に抑えられ、快適性指標PMVでも快適域を示しました。さらに職員の方へのアンケートでは、80%以上の方が快適と回答し、高い満足度を得られています。

AXS E-MANAGEMENT

運転データを見える化し、環境を高める

竣工時点の環境・設備システムは、設計条件から算出したピーク負荷に準拠した運転パターンが設定されています。その竣工時点の調整のままで、それ以降も運転され続けている建物が多く見受けられます。しかし、多様化･高度化した環境・設備システムを設計意図通りの性能で運転するためには、年間（期間）運転データの検証（分析、評価）→改善 + 調整が必要不可欠です。

運転データの検証を継続的に行うことによって、建物の使われ方や、時代とともに変化する利用者の要求事項に対して、無駄のない運転をいかにするかが見えてきます。ZEBの実現・ウェルネスを高めるためには運用後の環境・エネルギーマネジメントを行い、建物の使い方を調整するという視点を、企画・計画・設計段階から施工・運用段階にわたり持つことが重要です。

私たちは、環境・エネルギーマネジメントをより効率的に行い成果を挙げるために、業務としての AXS-PLUS という環境・エネルギーマネジメントサービスを新たに立ち上げました。当社が中心となり、発注者、建築・設備施工者、メーカー、物件に応じて大学・研究機関とともに運用状況（エネルギー・環境）を総合的かつ定量的・継続的にマネジメントします。それにより、従来に比べてより迅速かつ適確に各種の対応（計量計測点の精査・充実、実効的 BEMS の構築、改善案の立案など）を行い、成果を上げています。

AXS E-MANAGEMENT SYSTEM

エネルギーマネジメントで一次消費エネルギー量を運用段階で 17%削減

東京都公文書館では、設計段階から環境親和手法の詳細な検討を積み重ね、Nearly ZEB を達成しました（計算上）。運用開始後も継続してエネルギー消費量や設備機器・システム運転の実態調査を行い、実運用においてもさらなる性能向上を目指しています。本施設で重要となる資料の保存環境を保持しつつ、計画時との運用のズレを調整する（チューニングする）エネルギーマネジメントを行った結果、一次エネルギー消費量の前年度実績値に比べ、約 17%※の削減が可能と見込んでいます。

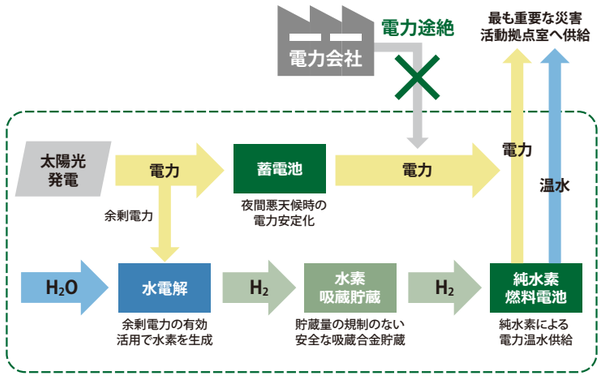
※2021 年の一次エネルギー消費実績に対する計算値

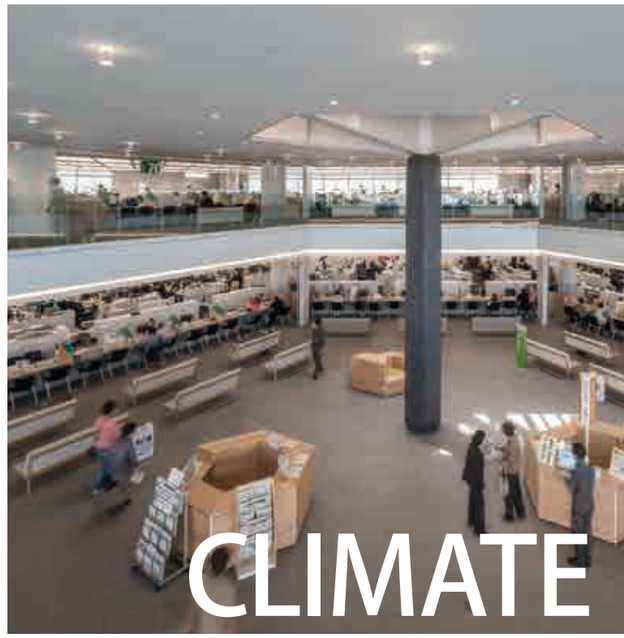
AXS NEXT

環境・都市エネルギーへの新たな視点を考える

体感、不均一・非定常を重視した温熱環境の形成でエネルギー消費を削減

日本最大の展示場である東京ビッグサイトに、開館から20年以上を経た2019年、新たに南展示棟が竣工しました。総延長 200m 超の移動空間である連絡通路・コンコースは、空間全体を均一に空調するのではなく、局所的に快適な風（気流感と低湿度）を提供する体感を重視したクールエアスポットを設置しています。それにより、室温を常に一定に保持する温熱環境とした場合の無駄なエネルギー消費を削減しています。具体的には、ベンチに空調装置を組み込んだベンチ一体型クールエアスポットと冷水・温水利用の床・壁放射システムを組み合わせ、効率性・快適性の向上を図っています。

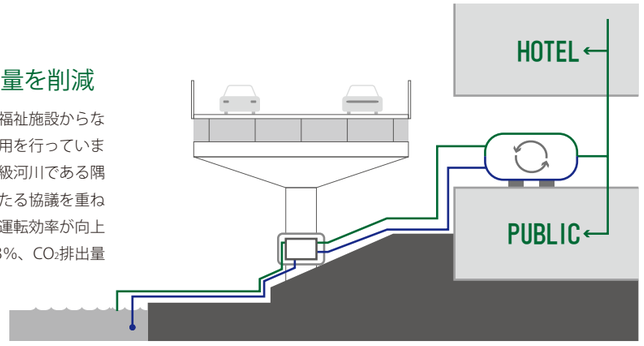




NEW ENERGY

河川水の熱（未利用エネルギー）を活用し、CO_2 排出量を削減

隅田川沿いに建つヒューリック両国リバーセンターは、ホテル・船着場・児童福祉施設からなる複合施設であり、民間企業としては稀少な試みである河川水（隅田川）の熱活用を行っています。河川水利用は、新たな都市のエネルギーのあり方を示唆するものです。一級河川である隅田川からの熱利用は民間プロジェクトでは前例がなく、設計初期から数年にわたる協議を重ね実現しました。河川水温は、外気と比較して夏は冷たく冬は暖かいため、熱源運転効率が向上します。そのため一般的な空調熱源と比較すると一次エネルギー消費量は約13%、CO_2排出量は約 10 %の削減となると試算されました。



RIVER WATER UTILIZATION SYSTEM

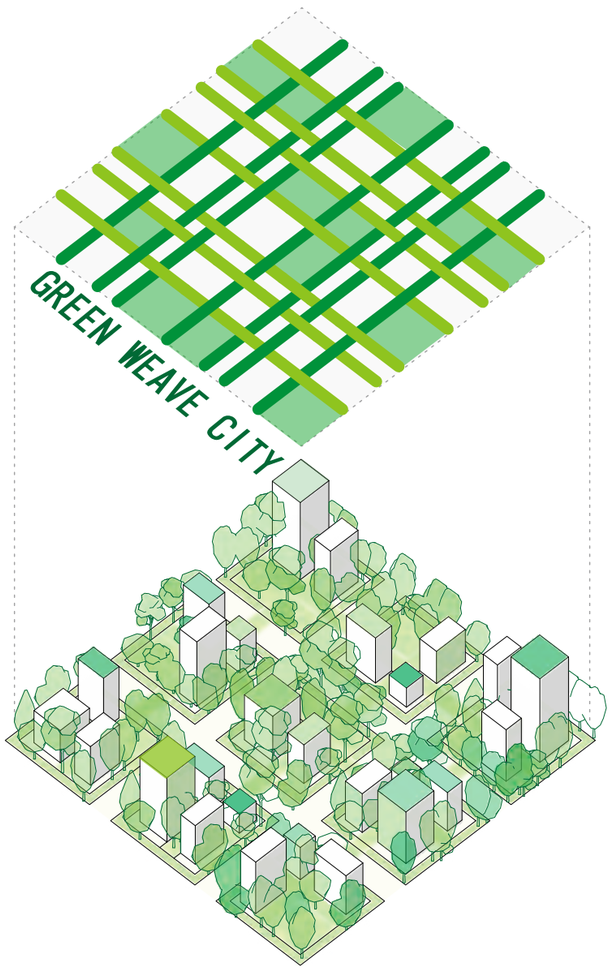
グリーン水素利用システムを実際に運用

これからのエネルギー利用において「水素」はキーワードの一つです。敦賀市庁舎（福井県）や宇部市庁舎（山口県）では、先駆的・先導的な取り組みとして、再生可能エネルギーである太陽光発電電力により水を電気分解することで CO_2 排出ゼロのグリーン水素を製造し利用する純水素発電システムを導入しました。

閉庁時の余った太陽光発電電力も無駄にせず、貯蔵することで、平時のみでなく非常時の電力にも備えることが可能な排出CO_2ゼロの水素利用システムです。

1500リットル/分の潤沢な地下水を多段階に活用

羽島市庁舎（岐阜県）は、不整形な敷地形状に対して合理的な正三角形スパンの形態とすることでコスト縮減や無柱空間による設計の自由度を高めています。環境・設備計画においても執務室に体感性・省エネルギー性に優れた天井放射パネル冷暖房（冷温水式）を全面的に採用しました。天井放射パネルを照明と一体化し、建築計画に合わせた正三角形とすることで意匠デザインとの融合を図っています。また、水質の良い地下水が豊富な地域であることから、地下水を放射冷暖房、空調熱源、トイレ洗浄水などにカスケード利用し、環境親和性の高いシステムとしています。



人工環境の中に自然を織り込む

現在の都市や建築を考えるうえでの課題として、環境の悪化に対し対症療法的な取り組みに向かうだけで、気候変動の根本的解決に向かう姿勢が見えてこないことが挙げられます。もちろん、CO_2の削減を積極的に進めることは重要ですが、問題はその対処に向かう姿勢にあるのではないでしょうか。
閉じられた高密度な環境の中で快適で利便的な都市や建築を求めることが果たして、人間を含めた多様な生物にとっての道なのでしょうか。
私たちは、人間が利便性を追求するあまりに過剰に人工化を進めてきた都市や建築に、自然を呼び込む方法を考えることがいま求められていると考えます。
それは、都市や建築の多く（半分）を自然に返すこと。すなわち、人工化された環境をできる限り減らし、都市や建築に対して自然環境の割合を等価にまで高めることで、それぞれの持つキャパシティを開放することです。言いかえれば、自然環境と人工環境との「取引」（ディール）という概念を持つことです。
私たちは、自然環境を高密化した人工環境（都市・建築）に網の目（織物）のように自然（環境）を織りこむことで、自然の生態回復に取り組んでいきます。

Data sheet

ミライon
長崎県立長崎図書館及び大村市立図書館、
大村市歴史資料館

所在地　長崎県大村市
竣工　2019年 1月
発注者　長崎県、大村市
建物規模　地上6階
構造　S造
敷地面積　16,223.00m²
建築面積　5,054.00m²
延床面積　13,506.76m²
共同設計　INTERMEDIA

ー受賞ー
2022年　第1回SDGs建築賞　審査委員会奨励賞
2021年　第62回BCS賞
2020年　2020年度グッドデザイン賞
第18回照明学会照明デザイン賞
2019年　照明普及賞
2023年　カーボンニュートラル賞

鞍手町庁舎

所在地　福岡県鞍手郡鞍手町
竣工　2024年予定
発注者　鞍手町
建物規模　地上3階
構造　S造
敷地面積　11,257.76m²
建築面積　2,425.42m²
延床面積　5,392.10m²

ー補助金の取得実績ー
環境省　令和4年度建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業

東京都公文書館

所在地　東京都国分寺市
竣工　2020年 1月
発注者　東京都
建物規模　地上3階
構造　SRC, S造
敷地面積　6,000.01m²
建築面積　3,910.04m²
延床面積　10,259.59m²

ー受賞ー
2022年　第63回BCS賞
2021年　2021年度グッドデザイン賞
2020年　第54回日本サインデザイン賞
日本サインデザイン銅賞

敦賀市庁舎

所在地　福井県敦賀市
竣工　2021年 9月
発注者　敦賀市、敦賀美方消防組合
建物規模　地上6階
構造　S, RC造、免震構造,連結制震構造
敷地面積　15,184.79m²
建築面積　4,835.41m²
延床面積　13,531.28m²

多摩市立中央図書館

所在地　東京都多摩市
竣工　2023年 3月
発注者　多摩市
建物規模　地上2階、地下2階
構造　RC, S, SRC造
敷地面積　4,273.31m²
建築面積　2,010.87m²
延床面積　5,439.26m²

港区立小中一貫教育校 赤坂学園
赤坂中学校

所在地　東京都港区
竣工　2023年 6月
発注者　港区
建物規模　地上6階、地下1階
構造　S, SRC, RC造
敷地面積　10,798.32m²
建築面積　3,379.53m²
延床面積　17,917.05m²

飯塚市庁舎

所在地　福岡県飯塚市
竣工　2017年 2月
発注者　飯塚市
建物規模　地上8階
構造　RC, S, SRC造、免震構造
敷地面積　11,013.02m²
建築面積　4,386.90m²
延床面積　18,284.28m²

ー受賞ー
2021年　第35回空気調和・衛生工学会振興賞
技術振興賞［飯塚市役所におけるZEBとウェルネスの両立の実現］

世田谷区立保健医療福祉総合プラザ

所在地　東京都世田谷区
竣工　2020年 2月
発注者　世田谷区
建物規模　地上5階、地下 1 階
構造　SRC, S, CFT造、柱頭免震構造
敷地面積　8,710.91m²
建築面積　4,600.46m²
延床面積　15,485.40m²

ー補助金の取得実績ー
環境省　平成30年度再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業
（地中熱）

吉川市庁舎

所在地　埼玉県吉川市
竣工　2018年 3月
発注者　吉川市
建物規模　地上3階
構造　S造
敷地面積　15,191.07m²
建築面積　3,575.18m²
延床面積　8,229.94m²

ヒューリック両国リバーセンター

所在地　東京都墨田区
竣工　2020年 8月
発注者　ヒューリック株式会社
建物規模　地上9階
構造　SRC, CFT, S造
敷地面積　1,509.15m²
建築面積　1,314.52m²
延床面積　8,157.75m²

ー受賞ー
2021年　2021年度グッドデザイン賞

東京ビッグサイト（東京国際展示場）南展示棟

所在地　東京都江東区
竣工　2019年 6月
発注者　東京都
建物規模　地上5階
構造　S造
敷地面積　131,314.85m²
建築面積　26,030.45m²
延床面積　66,492.86m²

ー受賞ー
2022年　第33回電気設備学会賞技術部門優秀施設賞
2020年　2019年照明普及賞

宇部市庁舎

所在地　山口県宇部市
竣工　Ⅰ期：2022年 5月
Ⅱ期：2024年予定
発注者　宇部市
建物規模　地上6階
構造　RC, S造、免震構造
敷地面積　15,513.18m²
建築面積　7,088.21m²
延床面積　19,091.91m²
共同設計　美建築設計事務所

ー補助金の取得実績ー
国土交通省　平成31年度サステナブル建築物等先導事業（省CO_2先導型）

羽島市庁舎

所在地　岐阜県羽島市
竣工　2021年 9月
発注者　羽島市
建物規模　地上 5 階
構造　S造、免震構造
敷地面積　22,397.99m²
建築面積　2,585.04m²
延床面積　9,800.71m²
共同設計　川﨑建築設計室・アートジャパンナガヤ

ー補助金の取得実績ー
環境省　平成31年度再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業
（地中熱）
環境省　平成31年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

あとがき

私たち佐藤総合計画（AXS）は、建築+環境・設備技術で環境問題（カーボンニュートラル+ウェルネス）に挑みます。技術革新を待つだけではなく、技術で革新していきます。

環境問題を人間の良心や我慢のみに頼っていては解決できません。環境負荷の小さいシステムや機器は存在しますが、「高価でも面倒でも環境に良いから我慢しよう」では誰も採用も使用もしないでしょう。

私たちは「環境の価値」を高め、なおかつ、普及促進の障害となっている問題を徹底的な「パッシブ+アクティブ+エネルギーマネジメント」で取り除き、個人の意識を変え、建築を変え、都市環境を変えていきます。

環境の価値を高めることは社会的価値（健康・ソーシャルキャピタル）の向上、経済的価値（雇用・新産業）の創出も期待できます。
理想の環境や理想の環境・設備設計に一足飛びに到達することはできないかもしれませんが、何もしなければ何も変わりません。
私たちは、人に、社会に貢献するため、ひたむきに歩き続けていきます。

最後に私たちが目指す建築・都市を示します。

・いきいきとした生き方ができるウェルネスな建築・都市へ
・パンデミックから命を守る建築・都市へ
・自然の脅威から命を守る建築・都市へ
・気候変動に対応する建築・都市へ
・エネルギーを融通し補完する建築・都市へ
・AI・センシング技術が快適・安全・安心をもたらす都市へ

AXS SATOW INC.
株式会社佐藤総合計画

東京本社　〒130-0015東京都墨田区横網2-10-12 AXSビル
Tel : 03-5611-7201 / Fax : 03-5611-7226

東北オフィス　〒980-0811宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 第一生命タワービル13F
Tel : 022-261-7511 / Fax : 022-213-1946

関西オフィス　〒540-0031大阪府大阪市中央区北浜東1-26 大阪日精ビルディング 4F
Tel : 06-6946-7330 / Fax : 06-6946-7336

九州オフィス　〒812-0025福岡県福岡市博多区店屋町5-18 博多NSビル10F
Tel : 092-263-0870 / Fax : 092-263-0871

横浜事務所　〒231-0002神奈川県横浜市中区海岸通4-23 マリンビル605号室
Tel : 045-201-6040 / Fax : 045-201-6049

中部事務所　〒460-0003愛知県名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル 4F
Tel : 052-220-5105 / Fax : 052-220-5108

問い合わせ先　Email : info_sta@axscom.co.jp